



岐阜県 下呂温泉 飛騨川に佇む100帖空間の畳風呂物語の宿 小川屋
北欧と和が融合した客室「栲tonerico」1室限定オープン
～ホテル客室の最新トレンドを取り入れた“新しい旅館客室のカタチ”～



当館「小川屋」(名称:株式会社小川屋、所在地:岐阜県下呂市湯之島570、代表取締役:野村 勝)は、日本三名泉に数えられる下呂温泉のもと、60年以上の長きにわたってお客様に愛されて参りました。

“北欧と和”の融合で、唯一無二のくつろぎ空間が完成

和のくつろぎの象徴である「畳文化」と、古来より日本にある温泉文化を融合させた「畳風呂」は当館の名物施設。その精神は、2015年5月21日(木)に、1室限定でリニューアルオープンする客室「栲tonerico」にも受け継がれています。同室は、部屋名の由来である西洋トネリコ(ホワイトアッシュ)の木材をふだんに使用した家具やフローリングと、縁なしのモダンな畳で構成。人気の北欧デザインと和のテイストが程良くミックスした空間となりました。十和田石を使用したお風呂は檜の框材に縁取られ、下呂の最高の温泉を部屋に居ながらにして味わえます。また、大型のソファ、なら無垢材のカウンター、W1400のシモンズ製ツインベッド、42インチの大型テレビなど、随所にさりげないこだわりをちりばめました。

“サードウェーブ系カフェ”のデザイナーが提案、ホテル客室のトレンドを反映した旅館客室

同室をデザインしたのは、サードウェーブ系カフェ「ザ・ロースタリー」をはじめ、国内外の高感度なインテリアデザインを多数手がける「bazik(バジック)」の滝澤雄樹氏。今回、従来の白い木材を多用した明るい雰囲気の特徴の北欧インテリアと、畳など低い目線を中心に構成される和室デザインとを組み合わせることで、落ち着くけれど開放感のある空間を生み出すことができたと言います。また、「洗面台前の大きな扉を開放すると、バスルームから寝室まで一つの空間で繋がるスタイル」はホテル客室デザインのトレンドながら、旅館客室に採用されるのは珍しいケース。限られた空間を広々と快適に感じられる効果を同室に加えております。当館では様々なトレンドを調和させた同室を通じて、「新しい旅館客室のカタチ」をご提案して参ります。ご期待ください。

■参考URL:和みの畳風呂物語の宿 小川屋 公式HP URL: <http://www.gero-ogawaya.net/>

次ページには同室リニューアルの詳細及び当館の概要説明を記載しておりますので、併せてご参照ください。



「栲tonerico」デザインのこだわり: 北欧の視点

日照時間の短い北欧。それを反映してそのインテリアは、白い木材を多用した、明るい雰囲気が特徴です。今回のリニューアルでは、西洋トネリコ(ホワイトアッシュ)の木材をふんだんに使用した家具やフローリングを中心に構成。従来の和室よりも、より開放感を出すことを意識しております。



「栲tonerico」デザインのこだわり: 和の視点

畳に座ったときのくつろいだ気持ちはやはり格別なもの。今回、ベッドやソファの位置を、通常よりも数十センチメートル低く設定することで、畳に座ったときの目線の低い状態を部屋全体に感じられるように設計しました。これが、モダンながらリラックスした雰囲気の一助となっています。

■ 北欧と和が融合した客室「栲tonerico」

1室限定リニューアルオープン3つのポイント

- (1) 「畳風呂」など様々な文化を融合する伝統の温泉宿・小川屋が、2015年5月21日(木)に、1室限定で「栲tonerico」としてリニューアル。
- (2) 部屋名の由来である「西洋トネリコ」の木材をふんだんに使用するなど、人気の北欧デザインと和のテイストが程良くミックスされた空間。
- (3) 話題のサードウェーブカフェを手がけたデザイナーが発見した、北欧テイストと旅館客室の親和性の高さ。また、ホテル客室の最新トレンドも取り入れた旅館客室として、「新しい旅館客室のカタチ」を発信していきたい。



■ 会社概要

会社名: 株式会社 小川屋
 所在地: 岐阜県下呂市湯之島570
 客室数: 96室(最大収容人数478名)
 施設: 宴会場・洋式宴会場・会議室・喫茶・
 売店・卓球場・ラウンジ・カラオケルーム
 お好みコーナー・麻雀室・エステルーム
 足湯・貸切風呂・大浴場・露天風呂

〈取材にあたりまして〉

- 詳細につきましては、担当: 寺尾又は山崎までご連絡ください。
- 取材いただける場合は読者・視聴者への宿泊券プレゼント等も検討させていただきます。また、プレスの方を対象にした「入湯無料券」付きの取材ツアーも随時実施。お気軽にお問合せ下さいませ。どうぞよろしくお願い致します。

和みの畳風呂物語の宿



岐阜県
下呂温泉

下呂温泉 小川屋 担当: 寺尾・山崎
 TEL: 0576-25-3121 FAX: 0576-25-3268
 Mail: y-yamasaki@gero-ogawaya.net
 n-terao@gero-ogawaya.net